

会 議 概 要

件 名	第2回大網白里市学校給食事業検討審議会
日 時	令和元年10月31日(木) 13時00分～14時00分
場 所	大網白里市立大網小学校 地域ルーム
出席者	椎名委員、中古委員、片岡委員、佐藤委員、小坂井委員、川嶋委員、齋藤委員、渡邊委員、 田中委員、安川委員、葛西委員 事務局：深田教育長、加藤副参事、石井副課長、石渡副主査、三浦主任主事 (欠席者) 手塚委員
傍聴者	なし
内 容	<p>※進行：事務局</p> <p>1. 開会 事務局</p> <p>2. 委員長挨拶 委員長</p> <p>3. 教育委員会より諮問 教育長から委員長へ諮問書の交付</p> <p>4. 議事(進行：委員長) (1) 学校給食費改定(案)について(事務局より説明) ・事務局(案) 小学校→月額： 5,000円 (500円の値上げ) 年額：55,000円 (5,500円の値上げ)</p> <p>中学校→月額： 5,800円 (600円の値上げ) 年額：63,800円 (6,600円の値上げ)</p>

(2) 学校給食費改定(案)についての意見交換

意見

委員：値上げについては、やむを得ないという言い方をするのか、当然という言い方をするのかうまくは言えないが、要するに賛否と考えれば賛成であるという考えです。

委員：今までの値段でよく頑張っていてやってこられたという感想を持ちました。そろそろ本当に限界だと思います。先生方の献立も本当に頭を痛めていることだと思います。是非値上げをしていただいて、より良い食材をお願いできればと思います。

委員：値上げについては理解できたが、値上げ幅はすべて保護者負担なのか、市で多少見てくれるのか、そういうところの負担軽減というのはどうなのだろうか。

事務局：現在の市の財政状況では非常に厳しい状況です。

委員：給食費の未納というのはどのくらいあるのでしょうか。

事務局：払ってくれるように働きかけをしたり、保護者に了解を得て児童手当から天引きをしたり努力をしております。

委員：教育費の問題になりますと必ず無償化の話が出てきます。実は本当に子育てで大事なものはお金の問題ではなくて、教育内容なのです。社会教育で一番大事なのは、家庭教育です。親としての自覚、子どもに愛情を持って育てるのだという自覚を持つことが大切で、一番大事なのが、我が子を三食食べさせて、その為に働く。何でも公費に頼るのではなくて、そこは自分が稼いで食べさせたいものです。食材料費は自分が持ちますと、子どもにも胸を張って言えるような親にならなければ家庭教育の第一歩が進まないと考えています。

委員：実際に作っている栄養士の立場からすると、主食と牛乳は、給食があれば必ず提供される料理ということで、その部分をどうしても、変えることができないし、無くすこともできない。他の食材については、今も工夫をしているところなので、何とかかなるのではないかと考えております。今回の値上げ金額があればありがたいと思います。

委員：魚の値段がすごく値上がりして、選べる魚が少ない。毎回同じような魚の種類になってしまう部分がある。値上げをして、その分のバリエーションとかも増やせたら良い。

委員：朝ご飯を食べない家庭が増えてきている。お昼だけでもしっかりと栄養を摂ればという保護者の方も多いので、給食は栄養バランスのとれたものが提供された方が良い。

委員長：周知の方法はどのようになるのか。

事務局：今後の予定では、第3回の審議会で答申をいただき、令和2年1月中に保護者の皆様には学校を通じてお知らせをしたいと考えております。

委員長：本日の委員の皆さんの意見をまとめさせていただきますと、やはり学校給食というのは質も落とせないし大事なものなので、今回の諮問に上がってきた額の改定ということで、この審議会についての意見はそういうことでよろしいか。

→全委員承認

(3) その他

事務局より次回の開催日について連絡

5. 閉会

事務局